

お茶の水女子大学での交換留学

国立台北芸術大学

テイ ス ティン

10月から学校に入学してから約4か月の時が経ちました。日本での交換留学も終わりが近づいています。この期間の様々な経験を振り返ると、学校生活、学業、そして放課後の時間も含めて、非常に充実していて素晴らしかったです。この留学経験は、私にとってかけがえのないものになりました。

お茶大は多様な授業内容を提供しています。専門的な日本語授業や文化交流、また学部の専門科目など、交換生に提供される多岐にわたる授業から、学生には自由に履修または講義の聴講ができる機会が与えられています。私はお茶大で履修した授業の中で特に印象深かった二つがあります。

まずは、土谷先生の博物館概論という授業です。この授業では、歴史的な世界の博物館と



美術館スタートし、その後は日本の博物館、文化遺産などに関連する法律の変遷に焦点を当てています。先生は毎回の授業の前に、日本の芸術文化施設を紹介して、さらに小規模な美術館や博物館についての理解を深めています。さらに、王一瓊先生の日本語演習Ⅲという授業です。この授業では、自分が興味を持っての方にインタビューを行って、まとめた内容をハンフレットを作成する授業です。この授業を通して、ずっと注目していたギャラリーに取材する機会を手に入れました。日本のイラストやセレクトショップの経営に関するたくさんのお話を聞くことができ、これはとても貴重な思い出になりました。

正規の授業以外にも、お茶大では様々な体験教室も開かれています。着物体験、茶道などがあります。日本の伝統文化をより深く理解し、また、イベントを通じて日本の学生や異な

る国からの交換留学生と友達になりました。課外の時間を利用して、一緒に東京の名所を訪れ、多くの素晴らしい思い出を作りました。

学校にはさまざまな種類のサークル活動があり、私は台湾で陶芸を学んでいたことから、交換期間中に学校の美術部陶芸サークルに参加しました。アートや陶芸に共通の興味を持つ友達に出会いました。技術の向上だけでなく、陶芸に関する日本語も学び、台湾と日本の陶芸の道具の違いや変化を理解しました。サークルの指導者である前田先生と仲間たちにとっても感謝しています。

最後に、指導教官やお世話になった人にお礼を伝えさせていただきます。まず、私の指導教官、土谷先生に感謝しております。毎月一回の振り返りシートをご覧いただいたり、お返事もくださったりしました、本当にありがとうございました。次に、荻原先生と国際課の大野さんに感謝しております。いろいろな手続きをしてくださってありがとうございました。留学生活を支えてくださってありがとうございます。それから、音羽館の管理人の方々に感謝しております。困ったとき時、質問に答えて教えてくださってありがとうございました。



あっという間に交換留学生活が終わります。この期間の素晴らしい思い出を心にしっかりとしまい、出会ったすべてに感謝します。